



あけまして、おめでとうございます 本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます



新学期が始まり、児童たちも登校してきて、学校に活気が漲りました。日々の学習はもちろん、2月に控えた文化祭に向けて、どの学年もそろそろ本格的に始動したところです。

今年は午年ですが、馬という動物は、古くから「物事がうまくいく」とか「運気が駆け上がる」と言われ、とても縁起の良い動物とされています。

午年にふさわしい良い年にできるように一緒に頑張りましょうと、始業式で児童たちに話をしました。

ところで、馬と人間は歴史的にも付き合いが長く、ことわざや格言の中にも、馬にちなんだものが数多くあります。

「馬が合う」というのは、乗馬に由来することばですが、これは、馬と乗り手の呼吸がぴったり合っている状態のことを言います。人間関係全般において「馬が合う」ということは幸いなことです。

また「馬には乗ってみよ、人には添うてみよ」ということばもあります。馬には乗ってみなければ善し悪しがわからないし、人とは付き合ってみなければその人の性質はわからないということから何事も経験することによって、そのもののよさが初めてわかるのだから、始める前から軽々しく批判するのはよくないという戒めのことばです。

人間同士、始めから気が合う・馬が合うということは稀なことなのかもしれません。「馬が合う」ようにと願いながらお互いに努力する中で、本当に素晴らしい掛け替えのない人間関係が築かれるのではないでしょうか。

もう一つ。「驥（き）は一日にして千里なるも、駑馬（どば）も十駕（じゅうが）すれば之に及ぶ」（『荀子』）ということばがあります。「驥」は、一日に千里も走る名馬のこと、「駑馬」は、足の遅い馬のことです。つまり、足の遅い馬であっても、十日間馬車を引っ張って走り続ければ一日に千里も走る足の速い名馬にも追いつくことができるという意味です。目標を定めて、それに向かって努力し続けることの大切さを説いたことばで、凡人でも努力し続ければ、すぐれた人物に追いつくことができるという意味で使われます。

AINシュタインも「天才とは努力する凡才のことである」と述べています。ですから、児童たちもこつこつと努力を積み重ねて、実り多い1年にしてもらいたいと願っています。

最後になりましたが、本校では、今年も「三位一体の教育」を大切にし、児童・保護者の皆様と私たち教員が「馬の合う」関係を構築し、児童の目標達成と健全育成のために「駑馬十駕」の努力を重ねてまいりますので、保護者の皆様には本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

17	土	
18	日	6年生実力テスト (1~5年生は家庭学習日)
19	月	
20	火	1/18の振替休日
21	水	
22	木	感謝祭 修学旅行説明会〈6年〉
23	金	いじめアンケート 漢字検定〈希望者〉



24	土	
25	日	
26	月	
27	火	中学部進学手続き〈6年〉
28	水	
29	木	
30	金	午前授業(入試準備のため)
31	土	2次入試(児童は家庭学習日)
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	6限授業(文化祭準備のため)
7	土	感謝祭・文化祭
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	建国記念の日
12	木	
13	金	算数検定〈希望者〉 カレッジツアーハウス
14	土	(週休日)高等部卒業式(児童は家庭学習日)
15	日	奈良私立小学校&附属幼稚園フェスタ(近鉄百貨店奈良店3階)
16	月	2/14の振替休日

※2/14(土)の週休日に高等部卒業式を行います。(児童は家庭学習日。)

そのため、2/16(月)を振替休日とします。

※漢字検定・算数検定の受検有無によって、下校時刻が異なります。詳細はBLENDにてお知らせしますので、必ずご確認ください。

第71回青少年読書感想文奈良県コンクール

●特選

5年2組 佐藤 優（さとう ゆう）

「自分らしさの大切さを知って」

●佳作

1年1組 福呂 桃寧（ふくろ もね）

「あきらめないってすごいこと」

第73回橿原神宮席上揮毫書き初め大会

●準特選

2年1組 江藤 零深（えとう れいみ）

第74回石上神宮奉納書き初め大会

●入選

2年1組 江藤 零深（えとう れいみ）

6年1組 八手又 涼耶（はてまた さや）



第2回 カレッジフェスタ

遊んで 楽しむ 学校見学



ミニ文化祭

1年生によるオリジナル劇
6年生による器楽合奏

児童企画コーナー

ぬりぬり
べらべら
自然と遊ぼう！森のクラフト
一緒に作ろう！世界に一つだけの本
ちべまるを救出せよ！～クイズラリーに挑戦～

3月
14日(土)
9:20-12:00

春の収穫体験
図書館見学ツアー
保護者交流コーナー
アフタースクールコーナー

